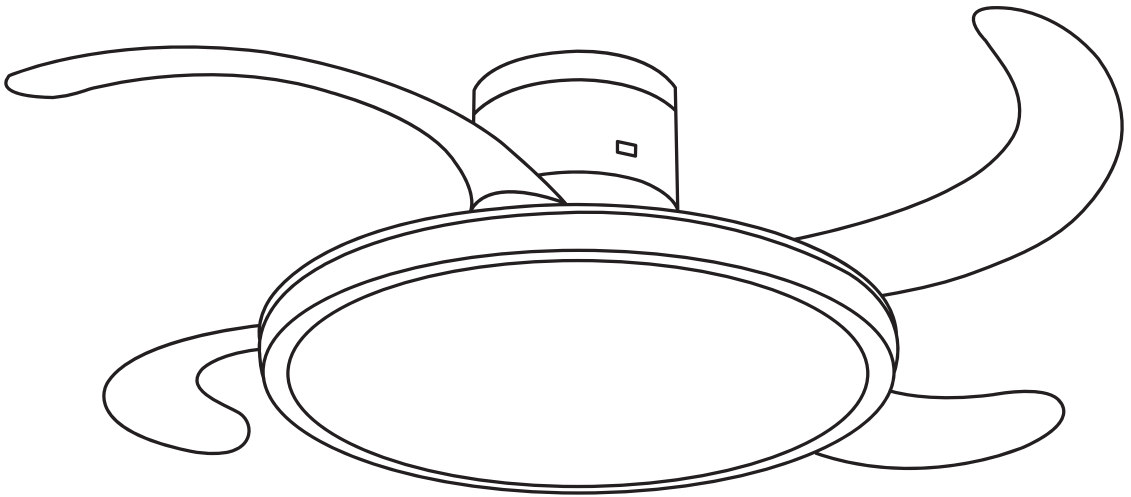


明灯風
清風
CEILING
FAN & LIGHT

羽根収納式
シーリングファンライト
CFL-S10

取扱説明書・保証書



目次

安全上のご注意	-----	P.1	仕様	-----	P.2
同梱一覧	-----	P.3	取り付け前の確認事項	-----	P.5
LED光源部とファン部の組立	-----	P.6	取り付け方法	-----	P.7
ペアリングについて	-----	P.10	リモコンの操作方法	-----	P.12
音声操作ワード一覧表	-----	P.16	お手入れについて	-----	P.20

安全上のご注意

※ご使用の前に、取扱説明書「安全上のご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害リスクの程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

「安全のため、必ず守っていただきたい重要事項」を示しています。

●**本体の隙間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。**

感電・けがの原因になります。

●**取り付けできない天井・取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。**

<取り付けできない天井>

・凹凸のある天井(格子天井・船底天井・竿縁天井)・傾斜した天井・簡単にたわむ天井。

・取り付け部のまわりに凹凸や極端な突出部がある天井取り付けられた場合でも、火災、感電、落下してけがの原因になります。

<取り付けできない配線器具>

・電源端子が露出しているもの

・破損しているもの

・取り付けが不十分でグラグラするもの

・ケースウェイに取り付けてあるもの

・配線だけのもの

火災・感電・落下してけがの原因になります。

●**ストーブなど温度の高くなるものを、本製品の近く・真下に置かない。**

火災・故障の原因になります。

●**室内専用なので、屋外では使用しない。**

器具周囲温度5~35℃の範囲内で使用してください。

火災・感電の原因になります。



注意

「製品を適切に使用するために守っていただきたい事項」を示しています。

●**取り付け・取り外しの際は必ず電源を切って行う。**

●**アダプターは奥までしっかり差し込む。**

落下してけがの原因になります。

●**分解や修理、改造をしない。**

火災・感電・落下してけがの原因になります。

●**カバーは確実に取り付ける。**

落下してけがの原因になります。

●**本製品には急停止保護機能が備わっていません。作動中のファンブレードには絶対に手や物を近づけないでください。**

●**お手入れの際は、腐食性のある化学薬品は使用せず、柔らかい布を軽く湿らせて表面を拭いてください。**

●**リモコンが動作しない場合は、電池切れの可能性があります。新しい電池に交換して、再度お試しください。**

使用上のご注意

以下の器具には絶対に使用しないでください。

●調光のついた電源(壁スイッチ)や回路。【調光:明るさを変える機能】

(製品が故障したりチラついたりする場合があります)100%点灯でも使用不可。

●誘導灯・非常用照明器具。

*屋外用器具。*風呂場などの湿気の多い場所、水滴などがかかる場所。

●その他、使用器具の種類や周辺環境などの要因により使用できない場合があります。

●本製品の周囲温度が35℃を超える場所では使用しないでください。(推奨使用周囲温度は5~35℃です)

●酸、硫黄などの腐食性物質の多い環境(温泉周辺など)では、本製品を使用しないでください。

(漏電・落下・口金腐食の原因)

●赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯しますと、リモコンが誤作動することがあります。

●水洗いや分解、改造はしないでください。

●設置して長期間使用しているときは、外観に異常がなくても定期的に点検してください。

*点検せずに使用し続けると、火災・落下による感電・けがの原因となります。

●器具で指定された取り付け方法を守り、確実に取り付けてください。

●濡れた手で触らないでください。

*感電の原因となります。

●照明を長時間直視すると、眩しさにより気分が悪くなる(目まいがする)恐れがあります。

長時間のご使用時は直視を避け、適度に目を休めてください。

●本製品の一部分が破損した場合、使用を続けたり、破損した部分に触れたりしないようにしてください。

*けが、やけど、落下の原因となります。



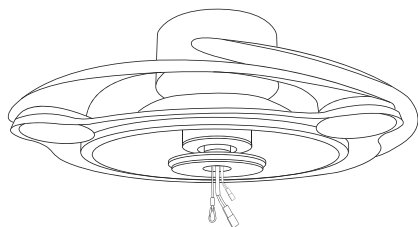
警告

本製品のファンブレードは透明で見づらく、さらに保護カバーもないため、作動時は身体や物が当たらないようにくれぐれもご注意ください。ブレードが当たって、事故や怪我を負う恐れがあります。

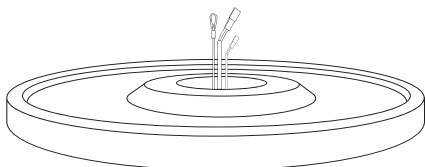
仕 様

品番	CFL-S10	羽根展開時直径	1090mm
電源	AC100V 50/60Hz	操作方法	液晶リモコン/音声操作
照明消費電力	消費電力55W/5000lm	適応畳数	≦ 12畳
ファン消費電力	約32W/4.0m/s(風量最大時)	適応天井の高さ	2.4m~2.7m
間接照明	暖色アッパーライト(消費電力15W)	壁側面距離	>150CM
照明機能	5色調色/7段階調光/常夜灯/3タイマー	物理リモコン	2.4GHz無線液晶リモコン
ファン機能	6段階風量/4タイマー/逆回転	音声リモコン	オフライン音声認識リモコン対応
送風方式	連続風/リズム風/おやすみ風	本体重量	約4.9kg
外形寸法	直径500mm x 厚み230mm	同梱付属品	2.4G無線液晶リモコン/音声リモコン 乾電池/取り付けセット/取扱説明書・保証書

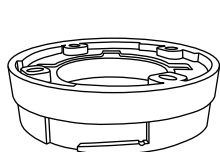
同梱一覧



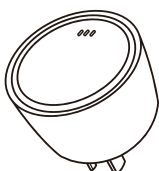
本体(ファン部) x1



本体(LED光源部) x1



ベースブレード用
アタッチメント x1



音声リモコン x1



取扱説明書 x1



無線液晶
リモコン x1



1.5cm

ベースブレード固定用木ネジ x3



0.8cm

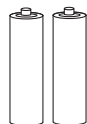
ハンガー固定ネジ x2

3.5cm



3cm

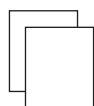
補強用セット x4
(補強必要のみ利用)



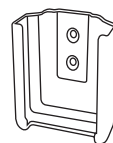
単4形乾電池x2



減光シールx2



防振テープx2

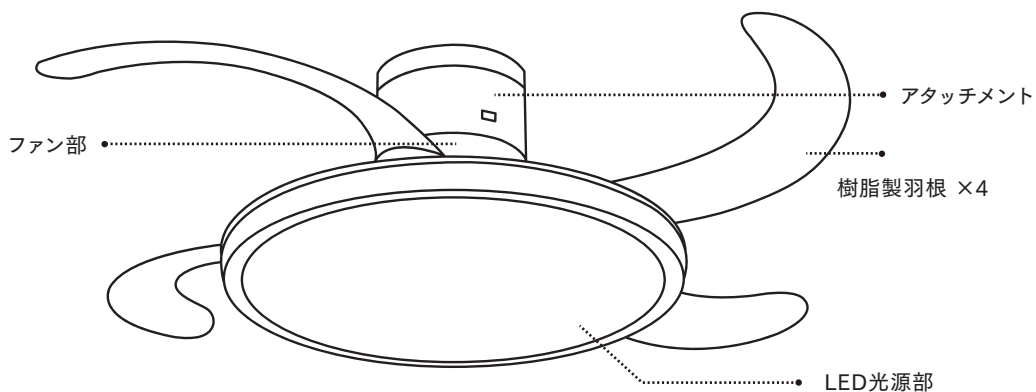


リモコンケース x1



木ネジ x2

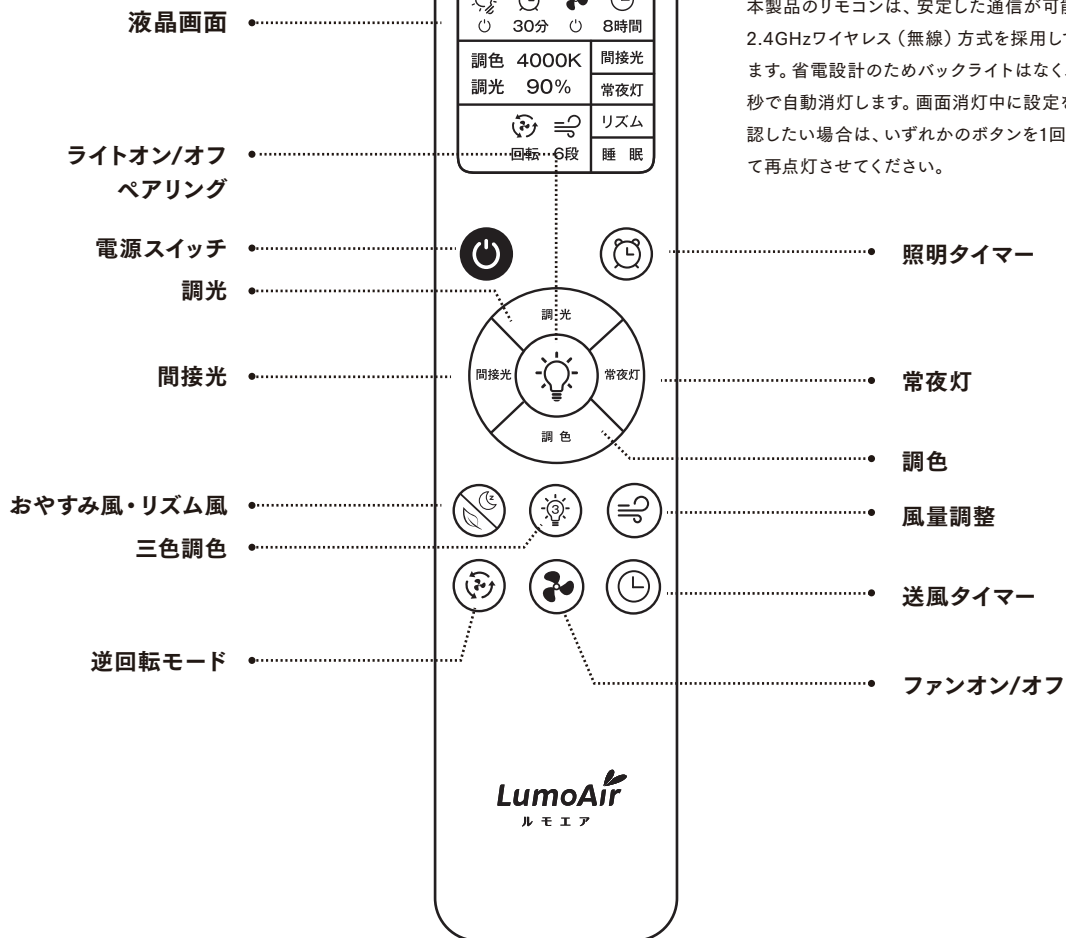
製品構成 (各部の名称)



無線液晶リモコン

節電画面について

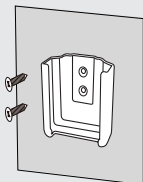
本製品のリモコンは、安定した通信が可能な2.4GHzワイヤレス（無線）方式を採用しています。省電設計のためバックライトはなく、15秒で自動消灯します。画面消灯中に設定を確認したい場合は、いずれかのボタンを1回押しで再点灯させてください。



リモコン収納の仕方

付属のリモコンケースは、リモコン反応を確認のうえ、背面にある仮止め両面テープで仮止めをしてください。設置場所が決まりましたら、付属のネジを使用して設置してください。

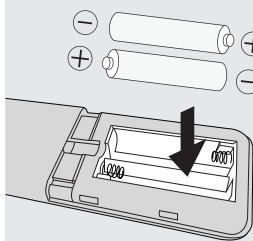
※設置場所によってはリモコンケースに入れたまま操作しても、本製品は反応しないことがあります。



乾電池の入れ方

下記の手順で電池（単4形乾電池）を入れてください。

- 1.電池ふたを開く
 - 2.⊕と⊖の向きに注意して、電池を入れる
 - 3.電池ふたを閉める
- 長時間使用しない場合は電池を取り外してください



取り付け前の確認事項

高所での作業になりますので、必ず足元の安全を確保してから行ってください。

本製品は下記の引掛シーリング配線器具に対応しています。

下図以外の配線器具、または配線器具がなく配線だけの場合は取り付けができません。

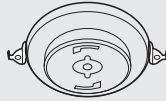
電気店または工務店に工事を依頼してください。



角型引掛
シーリング



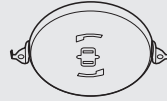
丸型引掛
シーリング



フル引掛
シーリング



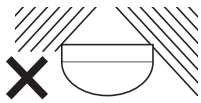
丸型フル引掛
シーリング



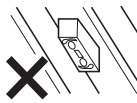
埋込ローゼット
(耳つき)



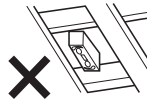
埋込ローゼット
(耳なし)



舟底天井



さおぶち天井



格子天井



不安定な
場所



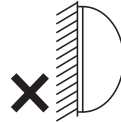
突起物や凹凸
のある天井



補強のない薄いつ井
(ベニヤ板、石こうボードなど)



簡単にたわむ天井



壁面



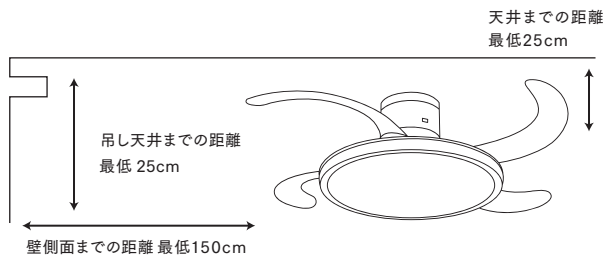
傾斜天井

取り付け空間の注意事項



注意

配線器具中心より天井、壁
側面に有効距離を必ず確保
してください。



狭い空間の取り付けには、配線器具を中心に 150cm×150cm の平面空間、および天井からファンブレードまで最低 15cm の立体空間が必要となります。有効距離が確保できない狭い空間では乱流が発生し、風の勢いが失われ、風量減少または完全に送風できない場合があります。

【対応方法】

① 設置位置の見直し

ファン下端と天井との距離は最低25cm以上を推奨します。壁から離して取り付け、またファンの一部を吊り天井の外側に出して、側面吸気を確保する必要があります。

② 補助的な換気・送風

エアコン、窓、排気ファンなどと併用し、室内全体の気流を循環させます。

LED光源部とファン部の組立方法

本製品は「LED光源部」と「ファン部」が分かれている脱着式セパレート設計のため、必ず天井に取り付ける前に床などの平らで安定した場所で組み立てを行い、その際は安全かつスムーズに作業できるよう、1人がLED光源部を支え、もう1人が安全ワイヤーの取り付けやコネクターの接続を行うなど、必ず2人以上で行ってください。

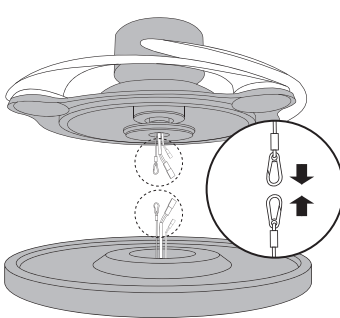
安全に関する重要注意事項

●落下の危険を防ぐため、手順①の安全ワイヤーは必ず最初に取り付けてください。装着を怠ると、作業中や使用中に本体が落下する原因となります。

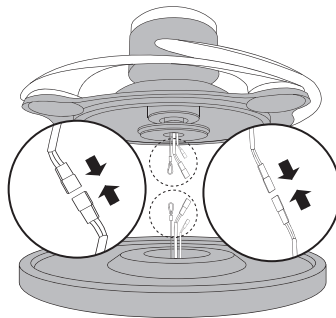
●電源コネクタ（大小）を接続する際は、必ず端子(赤い印)の向きを合わせ、カチッと奥まで確実に挿入してください。無理な差し込みや不完全な接続は、断線や動作不良の原因になります。

●ファン部をLED光源部のホールに嵌め込む際、内部コードが回転部や隙間に挟まれないよう配線を整理してください。コードが挟まったまま回すと、破損や断線の恐れがあります。

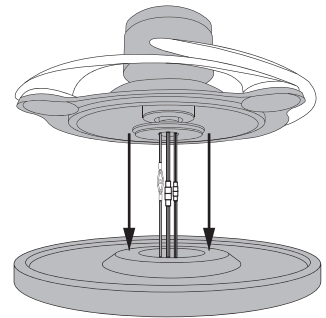
●ホールへ挿入する際は必ず本体を水平に保ち、ゆっくり差し込んでください。傾いた状態で力任せに回すとロック爪が破損し、固定できなくなる恐れがあります。



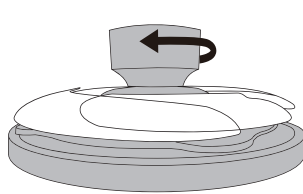
①安全ワイヤーの取り付け



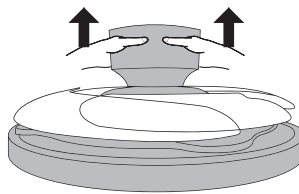
②電源コネクタ(大)(小)の接続



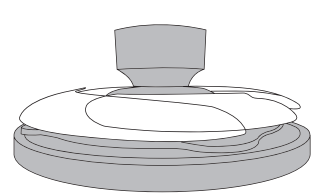
③ファン部をLED光源部の
ホールにはめ込む。



④本体上部を持ち、右回りに回してください。カチッと音がするまで確実に回し、ロックされていることを必ず確認してください。



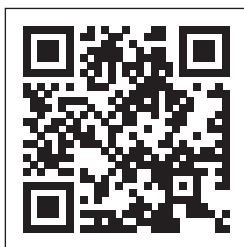
⑤両手でしっかりと持ち上げた状態で軽く揺らし、LED光源部がガタついたり、外れて落下したりしないか必ず確認してください。



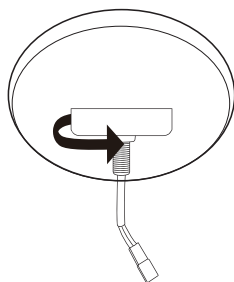
⑥取り付け完了

配線器具の取り付け方法

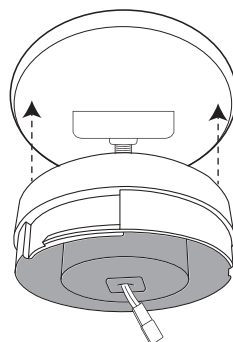
本製品の総重量は約4.9kgです。引掛シーリングの耐荷重に関する基準（耳なし5kg未満／耳あり10kgまで）の範囲内です。本製品は、天井と器具を隙間なく密着させて固定し、回転時の微細な振動や緩みを強力に抑制する「強化型ベースプレート」を独自開発し採用しています。適切に設置された場合、一般的な天井環境であれば別途天井補強工事は不要ですが、安全のため定期的な点検を行ってください。



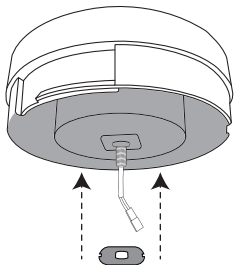
QRコードを読み取って詳細な解説（動画/マニュアル）をご確認ください。



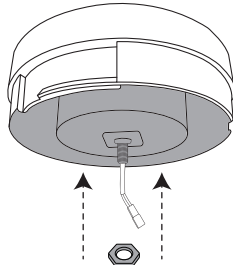
①角型引掛シーリングを天井のローゼットに差し込み、右に力チッと回して固定します。



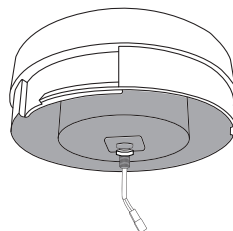
②固定された角型引掛シーリングのネジをベースプレートのホールに挿し込みます。



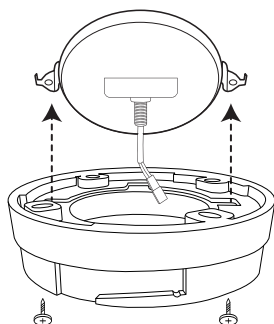
③付属の補強プレートを押上げ、天井面に隙間なく押し上げます。



④付属のスパナで固定ナットを取り付け、天井面に隙間のないように調整します。



⑤ベースプレートの密着パット、また付属の防振テープを使用して天井面とぐらつき、がた付きがないようにしっかり固定します。



配線器具にハンガー(耳)がある場合

お使いの配線器具にハンガー（耳）がある場合は、安全性を高めるため、必ず付属のネジを使用して、ハンガーの左右の耳にしっかりとネジ留めし、補強を行ってください。

補強工事について

本製品の総重量は約4.9kgで、日本の電気用品安全法（PSE）およびJIS規格（耳なし引掛シーリング：5kg未満／耳ありローゼット：10kgまで）の安全基準に適合しています。

本製品のベースプレートには「補強用ネジ穴」を設けており、予備の木ネジおよびアンカーを同梱しています。以下の設置環境や、地震時の落下防止対策として、必要に応じて補強を行ってください。

【補強が必要・または推奨されるケース】

- 直接設置：引掛シーリングのない天井、コンクリート天井、剥き出しの梁などへ取り付ける場合
- 経年劣化：天井板に緩みやひび割れが見られる場合
- 落下の不安：強い地震時、また天井、取付金具の経年劣化による落下防止対策

木下地(木ベース・野縁)への取り付け

ベースプレートの4箇所の補強用ネジ穴を使用し、天井裏の野縁の構造に合わせてしっかりと固定してください。

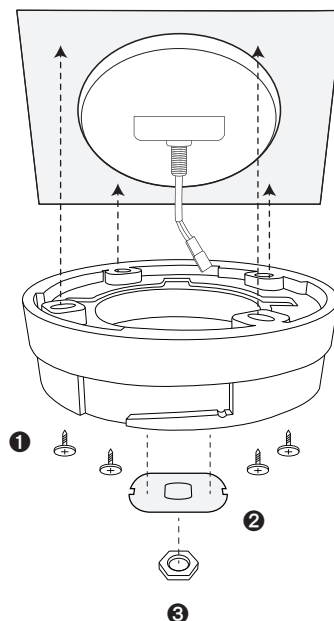
①十字交差の野縁の中心にある場合

4つのネジ穴すべてが天井裏の木下地に重なります。付属の補強木ネジ4本を使用し、すべての箇所を野縁に直接ねじ込んで完全に固定します。

②1本の平行な野縁の上にある場合（一般的）

野縁のライン上にある対角のネジ穴2箇所に、付属の補強木ネジを真っ直ぐ打ち込みます。通常、この2点固定だけで安全上十分な強度が得られます。

さらに固定力を高める場合、下地のない残り2箇所の位置に、付属の石膏ボード用アンカーを打ち込んでからネジ留めしてください。



鉄骨(軽天・LGS下地)への取り付け

天井裏が鉄骨（軽天）の場合は、以下の3ステップでシンプルに直接固定します。

①位置確認：下地チェッカーや強力磁石で鉄骨の位置を特定します。

②ビス選定：市販の軽天ビスまたはドリルネジ（径4mm以上、長さ：天井板厚＋鉄骨厚＋15mm以上）をご用意ください。

③直接固定：電動ドライバー等を使用し、ベースプレートの補強穴から鉄骨（厚み約0.5～0.6mm）を直接貫通させて、しっかりと締め付けます。

取り付け手順

①取付金具にあるネジ穴を利用して付属の落下防止木ネジで天井裏の野縁に向かって打ち込み完全に固定します。

②ネジの緩み止め補強用ワッシャーを取り付けます。

③天井とアタッチメントの間に隙間がなくなるよう、ネジをしっかり締め付けます。

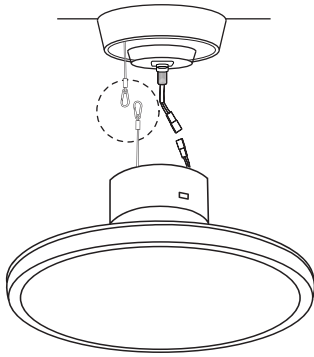
配線器具取り付け方法

【安全上の注意】

●二人以上で作業してください。（落下や転倒による事故を防止）●感電注意：作業を始める前に、必ず壁のスイッチを切り、ブレーカーを落としてください。

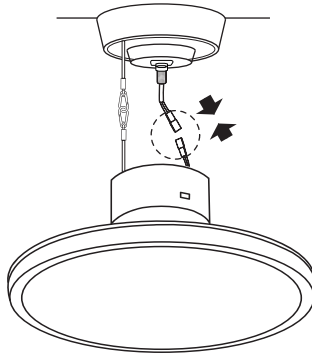
●常夜灯の方向・明るさ調整について

本製品の常夜灯は、就寝時に光が直接目に入って不快な場合は、本体の取り付け時に90度回転させて向きを調整し、お好みの方向に設定してください。常夜灯の明るさを抑えたい場合は、市販の「減光シール」や「遮光シート」をご活用ください。



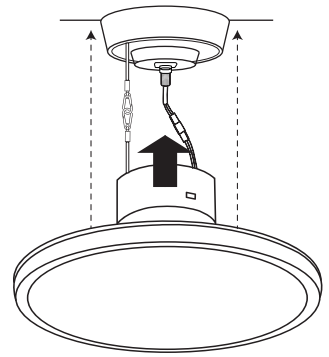
①安全ワイヤの取付

1名が本体を支え、もう1名が本体から出ている落下防止用安全ワイヤーを取付金具の専用フックに確実に繋いでください。



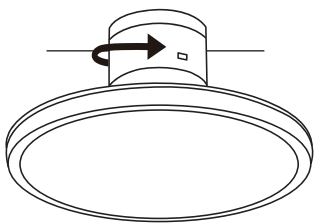
②電源コネクターの接続

本体を支えたまま、天井のベースプレートと本体側の電源コネクタをロックがかかっているかどうかを確認して奥まで確実に差し込んで接続します。



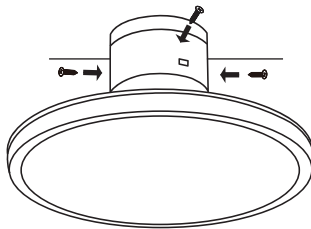
③本体を取付補助具にはめ込める

※コネクタのコードやワイヤーを間に挟まないようにしてください。



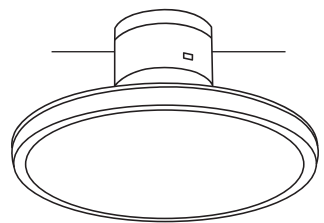
④右に止まるまで回してください

※落下を防止するため、確実に取り付けられたことを確認したあと、ゆっくり手を離してください。



⑤3箇所あるネジ取り付け穴に、ドライバーでネジを取り付ける。

※ドライバーは付属していませんので、別途でご用意してください。



⑥取り付け完了

無線液晶リモコンのペアリング

無線液晶リモコンのペアリング手順

製品を初めてご使用になる前、またはリモコンを新しく交換した際は、必ず照明本体とのペアリングを行ってください。

①電源を入れる

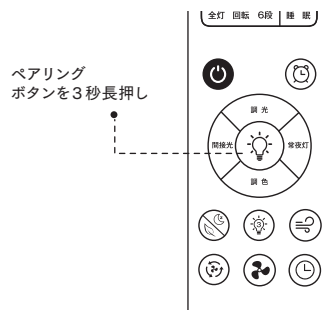
壁の電源スイッチを「ON」にします。

②ペアリングボタンの長押し

壁のスイッチを「ON」にしてから3秒以内に、
リモコンのライト/ペアリングボタンを長押しします。

③登録完了の確認

本体のLEDライトが点滅または「ピッ」と電子音が鳴ると、ペアリングは正常に完了です。



複数台設置時の「混信防止」について：2.4GHz帯は信号がよく届くため、隣り合った部屋に同じ製品を2台設置すると、1つのリモコンで両方のライトが同時に動いてしまうことがあります。この場合は、それぞれの本体とリモコンを1台ずつ個別でペアリングしてください。

本製品の無線ペアリングには、以下の仕様と制限があります。ご使用前に必ずお読みください。

●最大登録台数は「2台」まで

1台のファンライト本体に対して、同時にペアリングできるリモコン（無線液晶リモコンまたは音声操作リモコン）は最大2台までです。

●3台目を登録した場合は「自動上書き」

すでに2台登録されている状態で、新たに別（3台目）のリモコンをペアリングすると、「直近登録されたリモコン」の登録情報が自動的に消去（上書き）され、使用できなくなります。

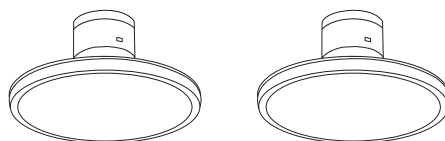
●無線液晶リモコンを「ペアリング解除」したい

本製品は、特定のリモコン情報のみを個別に手動で削除（初期化）することはできません。ただし、音声認識リモコンを使用してペアリングを解除することは可能です。

同じ空間に2台本体を設置する場合

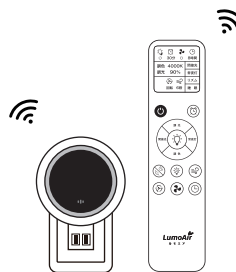
●別々に操作したい場合（推奨）

1つの住居内に本製品を2台設置し、それぞれを個別に操作したい場合は、混信を防ぐためにそれぞれの本体に対し、専用のリモコンを1台ずつ個別でペアリング設定してください。



●1つのリモコンで2台同時に操作する場合

同じ空間（リビングとダイニングなど）にある2台のファンライトを、1つの無線液晶リモコンまたは音声リモコンで同時に操作することも可能です。同じリモコンでそれぞれの本体にペアリングしてください。

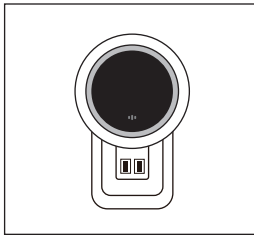


音声リモコンのペアリング

音声リモコンについて

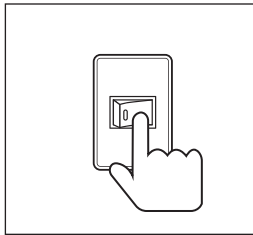
本製品には、インターネット接続やWi-Fi設定、スマートフォンの操作が一切不要な「オフライン音声操作リモコン」が付属しています。インターネットに接続しないため、お部屋の音声データや個人情報が外部に送信される心配がなく、セキュリティ面でも極めて安全です。スマートフォンやスマートスピーカーの操作が苦手な高齢の方や、機械操作が不慣れな方でも、取り付けたその日から声だけで簡単に操作できます。

音声リモコンのペアリング手順



1

音声リモコンをコンセントに
差し込みます



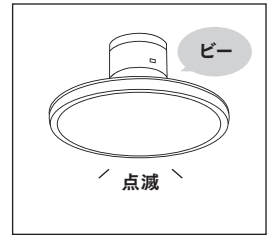
2

壁スイッチをオンにします



3

電源を入れた5秒以内、操作
ワード「ペアリングして」を音
声リモコンに発話します



4

本体光源部の点滅を確認し、
「ビー」と音が聞こえると、
ペアリング完了します

●電源投入後5秒以内、リモコンの操作が一切ない状態でペアリングを実施してください。●音声リモコンのアンサーバックは、会話型の操作をイメージした応答音に過ぎず、コマンドに対する「本体の作動・完了の合図」ではありません。ペアリング完了の目安は、音声リモコンの返答ではなく、照明本体の点滅状態を基準としてください。●コマンドを送信後、照明本体が点滅せず、音も鳴らない場合はペアリング失敗です。再度試してください。●音声リモコンの受信可能距離は5mです。音声リモコンとシーリングライトとの有効操作距離は約10～20mとなります。

音声リモコンペアリングに関する（複数台・複数個時の仕様）

本製品のペアリングには、以下の仕様と制限があります。ご使用前に必ずお読みください。

●最大登録台数は「2台」まで

1台のファンライト本体に対して、同時にペアリングできるリモコン（無線液晶リモコンまたは音声操作リモコン）は最大2台までです。

●3台目を登録した場合は「自動上書き」

すでに2台登録されている状態で、新たに別（3台目）のリモコンをペアリングすると、「最も古い日時に登録されたリモコン」の登録情報が自動的に消去（上書き）され、使用できなくなります。

●音声リモコンを「ペアリング解除」したい

本製品は、特定のリモコン情報のみを個別に手動で削除（初期化）することはできません。

無線液晶リモコンの操作方法

- ファンの切り忘れ防止機能:最後に操作してから約12時間経過すると、ファンの運転が自動的に停止します。
- LEDとファンを同時にONにした場合、LEDは前回使用時の設定（メモリー機能）で点灯し、ファンは自動的に「風量3段」で運転を開始します。

LED・ファン同時

照明とファンの同時オン/オフ●

リモコンの電源ボタンを押すとファンと照明が同時にオンになり、再度押すとファンと照明が同時にオフになります。

液晶画面

●液晶画面

電力を節約するため、操作停止から5秒が経過すると液晶画面が自動的に消灯する仕様となっています。

ライトの操作

LEDオン・オフ/ペアリング●

ライトボタンを押すとLEDが点灯し、再度押すとLEDが消灯します。
本体の電源を入れてから10秒以内に長押しすると、ペアリングができます。

照明タイマー●

タイマーボタンを押すとライトが15分/30分/60分後にオフになります。

LEDの明るさ調整●

本製品のライトは7段階の明るさを調整可能です。

間接光●

間接光ボタンを押すと間接光モードが開始されます。

常夜灯●

常夜灯ボタンを押すと常夜灯モードが開始されます。

色温度調節●

本製品は色温度を細かく調整可能です。
リモコンの調色ボタンを押すと色温度が変化します。

三色調色●

本製品は光の色を3タイプから選択可能です。
リモコンの調色ボタンを押すごとに、以下の順で光の色が切り替わります。
「電球色（暖色）→ 昼光色（白色）→ 昼白色（中性色）」の順にサイクルします。

ファンの操作

●ファンのオン/オフ

ファンボタンを押すとファンが回転し、再度押すとファンが停止します。

●リズム風・おやすみ風

リズム風・おやすみ風ボタンを押すとリズム風になり、再度押すとおやすみ風になります。

●風量調整

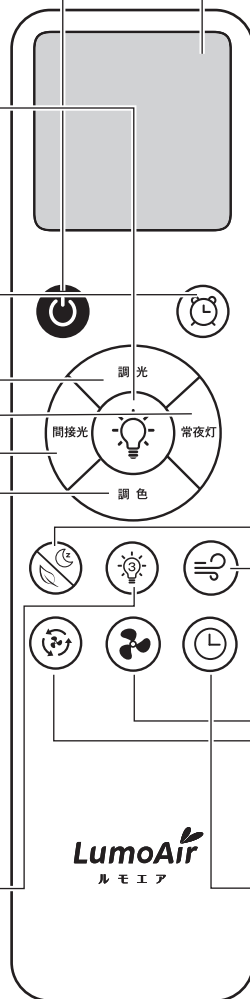
本製品はファンがオンの状態で6段階の風量を調整可能です。
リモコンの風量ボタンを押すことで、1段階～6段階の風量を調整できます。

●逆回転モード

逆回転モードボタンを押すと逆回転モードが開始されます。

●送風タイマー

送風タイマーボタンを押すとファンが1時間/2時間/4時間/8時間後にオフになります。



音声リモコンの操作方法

音声操作の流れ



- 操作ワードにつきましては本冊子の「操作ワード一覧表」P.9をご覧ください。
- 動作しない・受け付けられないコマンド・返答モードのときは、返答がありません。
- LED・ファンとも、電源を入れたときなど、前回使用したときのリモコンメモリーされている状態になります。

2台以上のリモコンを設置する場合

本製品を同じ部屋に2台同時に設置し、音声操作を行った場合、2台同時に同じ動作を行う可能性があります。そのため、音声操作をご使用の際は、本冊子の「操作ワード一覧表」の「ウェイクアップワード」欄をご参照のうえ、6種類のニックネームからお好みのものを設定してください。

返答モードと音量の設定

音量の調整や音声操作時に本製品からの音声による返答を無効にしたい場合、音声操作ワードで設定可能です。音声操作の詳細につきましては、本冊子の「操作ワード一覧表」の「返答モード」「音量」欄をご参照ください。

- 音声操作を行う際には必ず、最初にウェイクアップワードをファンライトに呼びかけてから操作ワードを発声します。
- 音声操作が実行された後、15秒以内であれば、ウェイクアップワード不要で連続して音声操作が行えます。
- 返答音声の再生中は、ウェイクアップワード及びほかの操作ワードが認識されづらい場合がありますので、返答音声終了後に再び声で発声してください。
- 音声操作ワードの音声認識は大規模言語モデルによって学習されていますが、12歳未満のお子様や高齢者、標準的なイントネーションと異なる方など、場合によっては認識されない場合がありますので、予めご了承ください。
- テレビやラジオなど、音声を発する電子機器の近くで使用すると、音声認識ができない、またはファンライトの誤認識・誤作動が起こることがあります。できるだけ音声操作の妨げにならない静かな環境で使用するようになしてください。
- 本音声リモコンはオフライン音声仕様のため、オンライン音声認知のAIによる語彙連想機能はございません。ご使用の際は、本表に記載されている操作ワードに従って操作してください。

本体の操作方式

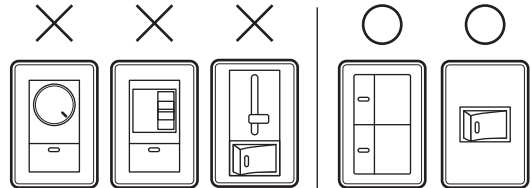
本製品は、照明（LEDライト）とファン（送風）が一体となった器具です。それぞれの機能は、完全に独立して操作することができます。ライフスタイルやお好みに合わせて、以下の「3つの操作方法」から便利な方法を選択してご使用いただけます。

壁スイッチ

●壁スイッチではLEDのON/OFFおよび色調整の操作が可能です。

●壁スイッチを素早く押すと色調整動作に切り替わります。順番は「電球色→昼白色→昼光色」です。

LEDは、前回使用時にリモコンに記憶された状態で点灯します。



【注意】

調光機能のついた器具、同時多灯操作の回路やスイッチには使用できません。必ず、販売店、電気工事店にご相談して交換してから操作してください。

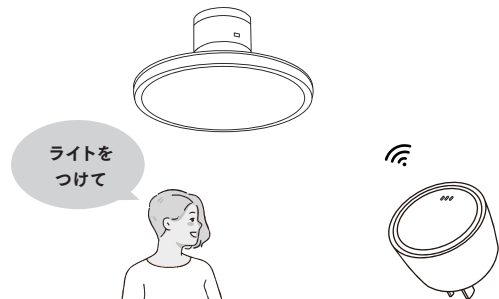
2.4GHz無線液晶リモコン

2.4GHz帯の無線信号を採用しているため、障害物の影響を受けにくく、広範囲からスムーズな操作が可能です。詳しいボタン機能の説明や調光・風量調節、タイマー等の設定方法については、次項の「物理リモコン操作方法」をご参照ください。



セパレートオフライン音声操作リモコン

Wi-Fi設定やアプリ登録、スマートスピーカーとの連携は不要です。壁のコンセントに取り付けるだけで、声をかけて「ライトをつけて」「風量を強くして」といった操作ワードで瞬時に操作が可能です。具体的な操作ワード一覧表や設定については、「音声リモコンの操作方法」をご参照ください。



2.4GHz無線液晶リモコンおよび音声操作リモコンを使用する際は、必ず壁スイッチを「ON」にしてください。壁スイッチが「OFF」になっていると、リモコンや音声での操作は一切できません。

本体の操作方法

主光源+間接光・直接光・間接光について

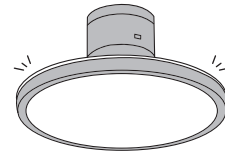
本製品は3種類の点灯モードをサポートしています。

●主光源+間接光 ●直接光 ●間接光

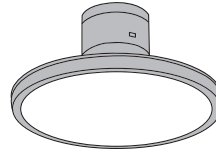
●主光源+間接光：本製品はライトボタンを押すと、デフォルトで全灯モードになります。

●主光源のみ：全灯モードの状態、間接光ボタンを押すと、直接光のみオンになります。

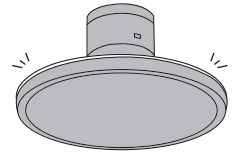
●間接光（アップライト）のみ：ライトがオフの状態、間接光ボタンを押すと、間接光のみオンになります。



主光源+間接光



主光源



間接光
(アップライト)

常夜灯について

本製品は常夜灯機能に対応しております。

操作方法（リモコンまたは音声操作）により動作が異なります。

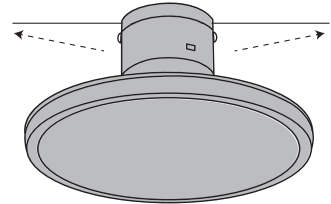
●無線液晶リモコン操作の場合：

常夜灯ボタンを押すごとに、点灯側が変わります。

点灯順序は「右側のみ」→「左側のみ」→「両側点灯」のサイクルです。

●音声リモコン操作の場合：

「常夜灯をつけて」の点灯コマンドを受信すると、左右両方の常夜灯が同時に点灯します。



照明範囲

明るさが気になる場合は、同梱する明るさを調節できる「減光シール」を活用してください。

リズム風・おやすみ風・連続風

運転中に無線液晶リモコンのリズム風/おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。

リズム風/おやすみ風ボタンを1回押すと、リズム風になり、2回押すと、おやすみ風になります。

もう一度押すと、連続風に戻ります。

●リズム風：「1/f ゆらぎ」の強弱で、自然界のそよ風を再現。

●おやすみ風：弱風、微風を段階的に、落として穏やかな眠りへ。

●連続風：連続風は強弱で6段階設定が可能です。

逆回転モード

●無線液晶リモコンで操作する場合：リズム風、おやすみ風、連続風の運転中に「逆回転」ボタンを押すと、逆回転モードに切り替わります。

●音声操作の場合：正回転、停止に関わらず、「逆回転にして」と、操作ワードで逆回転モードになります。

このモードでは室内の空気を循環させ、温度を均一に保つことができます。逆回転モードは6段階の風量調節が可能です。

操作ワード一覧表

操作ワード		返答ワード	
操作ワード		返答ワード	
ウェイクアップワード	ルモエア	●なにあに	●ペアリングが完了しました
	スマシーリング	●何か御用	●ペアリングを解除しました
	楽シーリング	●どうしたの	
	スマホテル	●何かな	
	楽ホテル	●お呼びでしょうか	
	あかりちゃん	●何でしょうか	
ニックネームの変更	ニックネームを変えて	●「ルモエア」に変えたよ。 今度「ルモエア」って 呼び出してね	点灯・消灯
	ウェイクアップワードを変えて	●「スマシーリング」に変えたよ。 今度「楽シーリング」って 呼び出してね	ファン
		●「楽シーリング」に変えたよ。 今度「スマシーリング」って 呼び出してね	両方同時
		●「スマホテル」に変えたよ。 今度「楽シーリング」って 呼び出してね	音量
		●「楽ホテル」に変えたよ。 今度「楽ホテル」って 呼び出してね	
		●「あかりちゃん」に変えたよ。 今度「あかりちゃん」って 呼び出してね	
	返答モードにして	●うん 返答モードにしたよ ●OK、返答モ〜〜ど!!	
	返答モードをやめて	●うん 返答モードをやめたよ ●OK、返答モード終了するね!!	
ペアリング	ペアリングして		
	ペアリングを解除して		
	ライトをつけて	●うん、ライトつけたよ ●はあい、お任せあれ! ●ライトだね、了解!	
	ライトをけして	●うん ライト消したよ ●はあい、ライト消すね	
	ファンをつけて	●ファンをつけたよ〜	
	ファンをけして ファンを止めて	●ファンを消したよ〜	
	両方をつけて	●両方をつけたよ ルモエア起動〜	
	両方をけして	●両方を消すね	
	音（おと）大きく 音量を上げて	●うん 音量を大きくしたよ ●OK、音大きくしたよ ●音量、大きくなったでしょ? ●もう一番大きい音量だよ ●これ以上大きな音に ならないよ?	
	音（おと）小さく 音量を下げて	●うん 音量を小さくしたよ ●OK、音小さくしたよ ●音量、小さくなったでしょ? ●もう一番小さい音量だよ ●これ以上小さな音に ならないよ?	

操作ワード一覧表

操作ワード		返答ワード	操作ワード		返答ワード
間接光	間接光をつけて	●間接光をつけたよ	ナイトライト	ナイトライトをつけて	●ナイトライトをつけたよ
	間接光をけして	●間接光を消したよ		ナイトライトをけして	●ナイトライトをけしたよ
常夜灯	常夜灯をつけて	●常夜灯に変わってるよ ●夜間モード中だよ ●夜間モードに入ったよ ●いつまで起きてるのぉ? そろそろ寝ようよお	調光	明るくして*	●うん もう少し明るくするね ●まだ明るさ足りないかな? ●もうちょっと明るくしてみる! ●あれれ、まだ暗いかな ●わかった! 明るくするね ●OK! もっと明るくする!
	常夜灯をけして	●よし! ●いいよ! ●オッケー ●わかった		すこし明るくして	●うん 一番明るくしたよ ●どう? すごく明るいでしょう ●ジャン! 一番明るくしてみました!
調色	色を変えて	●あかりの色を変えたよ	調光	暗くして*	●うん 少し暗くしたよ ●OK、ちょっと暗だね! ●了解! 暗くする! ●どう? 暗くなったかな?
	暖かくして*	●OK! 色を変えて 気分も変えちゃおう♪		すこし暗くして	●うん 一番暗くしたよ ●OK、一番暗くしてみた! ●暗いけど、怖くない?
調色	白くして*	●白い色にしたよ ●白いあかりだともっと 良く見えるね ●白いあかりではっきり 見えるね	調光	一番暗く	●明るさ①段にしたよ ●明るさ②段にしたよ ●明るさ③段にしたよ ●明るさ④段にしたよ ●明るさ⑤段にしたよ ●明るさ⑥段にしたよ ●明るさ⑦段にしたよ
	白いあかりにして	●自然な色のあかりにしたよ		明るさ①段	●自然な色にして
調色	白い色にして	●OK! ゆったり過ごしてね	調光	明るさ②段	●暖かい色にしたよ ●目に優しい暖かいあかり にするね ●暖かい色もいいね
	自然なあかりにして	●暖かい色にしたよ		明るさ③段	●全灯にして ●うん 一番明るくしたよ
調色	自然の色にして	●OK! ゆったり過ごしてね	調光	明るさ④段	
	暖かいあかりにして	●暖かい色にしたよ		明るさ⑤段	
調色	暖かい色にして	●目に優しい暖かいあかり にするね ●暖かい色もいいね	調光	明るさ⑥段	
	全灯にして	●うん 一番明るくしたよ		明るさ⑦段	

操作ワード一覧表

操作ワード		返答ワード	操作ワード		返答ワード
リズム風・おやすみ風・連続風	リズム風	●リズム風で、気分爽快だね～ ●リズム風にかえたよ ●リズム風にしたよ	おやすみ	おやすみなさい	●15分後に消灯するね おやすみ！ ●おやすみなさい！ ●今日も一日本当に お疲れ様でした！ ●いい夢をみてね。また明日ね
	おやすみ風	●おやすみ風にかえたよ ●おやすみ風にしたよ			
	連続風	●連続風にかえたよ ●連続風にしたよ	タイマー設定（ライト）	15分タイマー	●うん 15分後に電源を オフにするね ●OK! 15分後に電源オフだね！
逆回転	逆回転して	●逆回転をはじめるね		30分タイマー	●うん 30分後に電源を オフにするね ●OK! 30分後に電源オフだね！
	逆回転を止めて	●はい～逆回転を止めるね		60分タイマー	●うん 60分後に電源を オフにするね ●OK! 60分後に電源オフだね！
風量			タイマー設定（ファン）	タイマーをけして ^{*(2)}	●タイマーを消したよ
	風量アップ	●風量を強くしたよ		1時間タイマー	●うん 1時間後にファンを 止めるね ●OK! 1時間後にファンを ストップさせるよ
	強くして *	●はい、一段強くした～ ●OK、1段強くするね		2時間タイマー	●うん 2時間後にファンを 止めるね ●OK! 2時間後にファンを ストップさせるよ
	風量ダウン	●風量を弱くしたよ		4時間タイマー	●うん 4時間後にファンを 止めるね ●OK! 4時間後にファンを ストップさせるよ
	弱くして *	●はい、一段弱くした ●OK、1段弱くするね		8時間タイマー	●うん 8時間後にファンを 止めるね ●OK! 8時間後にファンを ストップさせるよ
	風量①段	●風量①段にしたよ		タイマーをけして ^{*(2)}	●タイマーを消したよ
	風量②段	●風量②段にしたよ			
	風量③段	●風量③段にしたよ			
	風量④段	●風量④段にしたよ			
	風量⑤段	●風量⑤段にしたよ			
	風量⑥段	●風量⑥段にしたよ			

*操作ワードが誤認識された場合、前半部分を強調して発音してください。例えば、「弱くして」が「強くして」と誤認識された際は、「弱く」を強調して発音ください。

* (2) 「タイマーを消して」という操作ワードを発声した場合、ファンとライトのタイマーが同時にオフになります。

本体の取り外し方法

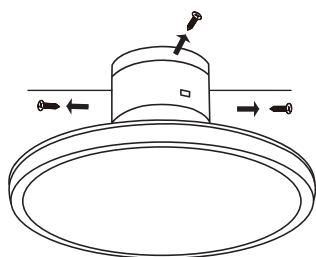
高所作業のため、必ず2人以上で作業し、落下・転倒事故を防いでください。

脚立・踏み台使用時は、平坦で滑りにくい床に設置し、必ず補助者が支えてください。

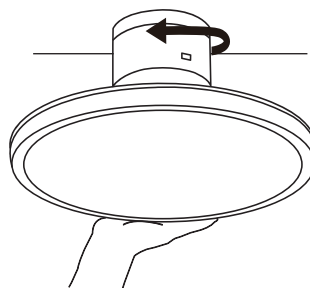
搬送・梱包注意：ファン可動・内部ギアへの衝撃は故障の原因となります。羽根を完全収納し、緩衝材で隙間を埋め、箱内で本体が動かないよう固定してください。

⚠ 警告

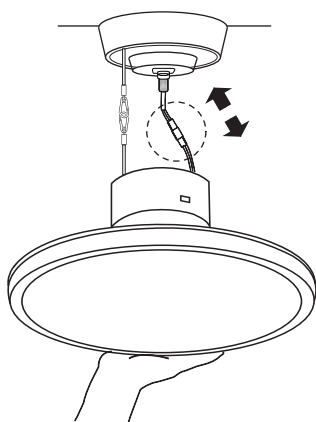
配線器具への取り付け・取り外しや、お手入れをするときは必ず壁スイッチ/ブレーカーを切ってください。



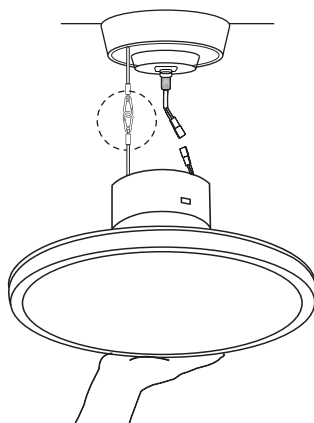
- ❶ 電源（壁スイッチ）を切る
3箇所あるネジ取り付け穴のネジを、
ドライバーで取り外す。



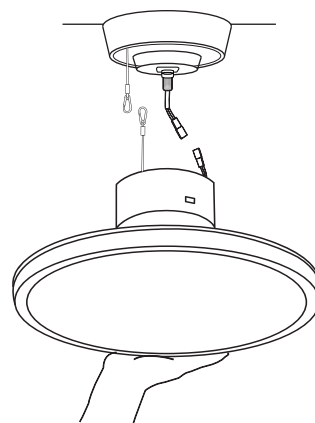
- ❷ 本体を左に回して、
取付補助具から取り外す



- ❸ 電源コネクターを取り外す



- ❹ 安全ワイヤを取り外す



- ❺ 配線器具から取り外す

お手入れについて

本製品は、運転時の遠心力によって羽根が自動で開閉する仕組みを採用しています。

ホコリが付きにくい構造：運転時の遠心力により、付着したホコリが自然に落ちやすくなっています。未使用時の美観：羽根が本体内部に完全に収納されるため、外部からのホコリや油汚れの蓄積を抑え、汚れが見えない構造です。そのため、頻繁なお手入れは不要ですが、定期的な点検や汚れが気になる場合は、以下の方法で行ってください。

●清掃や取り外し作業は必ず電源を切ってから行ってください。●二人以上で作業してください。（落下や転倒による事故を防止）●脚立や踏み台を使う場合は、平らで滑りにくい床に設置し、必ず誰かが支えてください。

選べる2つのお手入れ方法

本体を取り外してお掃除する(推奨)

「本体の取り外し方法」に従い、本体を安全に床へ下ろします。床に柔らかいマット等を敷き、その上で作業します。

2人の連携：1人が羽根をゆっくり引き出し、もう1人が拭き取りを行います。

設置したまま脚立の上でお掃除する

1人が羽根（ファン）を外側にゆっくりと引き開け、もう1人が羽根の表面やファン上部に溜まったホコリや汚れを拭き取ります。

落下防止：羽根を引き開ける際や汚れを拭き取る際は、本体に強い力や下方向への負荷を絶対にかけないでください。

具体的な清掃手順（各方法共通）

Step 1（羽根の引き出し）：両手で羽根の付け根を持ち、無理な力を加えずに、ゆっくり慎重に引き出します。

Step 2（ほこりを落とす）：乾いた布でほこりをやさしく拭き取ります。隙間の汚れは歯ブラシ等で軽くこすり落とします。

Step 3（洗剤拭き・水拭き）：水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから拭きます。その後、別の固く絞った布で水拭きします。

※モーターやLED配線部に水や洗剤が絶対に入らないよう十分ご注意ください。

Step 4（完全乾燥）：完全に乾燥したことを確認してから電源を入れてください

定期メンテナンス（経年劣化対策）

本製品の羽根固定部、ギヤ、およびバネは、長期間ご使用いただくうちに経年劣化が生じる場合があります。安全のため、2年以上ご使用の際は、清掃時に合わせて以下の日常メンテナンスを行ってください。

●ネジの緩み確認と締め付け：

光源部取り外した際に、羽根を固定している各部のネジやボルトに緩みがないか確認してください。万が一緩みがある場合は、レンチやドライバーを使用してしっかりと締め直してください。

●ギヤ・スプリングへの潤滑剤塗：

開閉機構のギヤやバネに塗布されている潤滑油（グリス）が乾燥・固化していると、摩擦による異音（きしみ音）やスムーズな開閉の妨げになります。市販の家電・電子機器用潤滑剤（プラスチック対応グリス）をギヤやスプリングの可動部に薄く塗布してください。

修理を依頼される前に

製品の動作がおかしいときは下記を参考に点検をおこなってください。処置をしても異常がある場合は、必ず壁スイッチをオフにして買い上げの販売店が弊社お客さま相談窓口までご連絡ください。

現象	考えられる原因	処置方法
点灯しない ファンが回らない	電源(壁スイッチなど)がオフになっている	電源(壁スイッチなど)をオンにしてください
	ブレーカーがオフになっている	ブレーカーをオンにしてください
	引掛シーリングが配線器具に確実に取り付けられていない	引掛シーリングを配線器具に確実に取り付けてください
	壁スイッチをオフした状態でリモコンを操作した	壁スイッチをオンにした後、リモコンでオンにしてください
点灯しない	照明がオフになっている	リモコン照明ON/OFFボタンを押してください 音声で照明ON/OFFを操作してください
ファンが回らない	ファンがオフになっている	リモコンのファンON/OFFもしくは風量ボタンを押すか、音声で操作してください
	前ガードやファンが正しく取り付けられていない	正しく取り付けてください
ファンブレードの異音がある	配線器具に正しく取り付けられていない	正しく取り付けてください
	ファンブレードが周辺の物と接触して振動している	本体が他の物と接触しないように角度調節してください
	温度が高いため、照明本体が変形しブレードと本体が接触している	設置空間の温度を下げて、ブレードと本体が接触しないようにします

万一の故障・経年劣化時のパーツ交換について

本製品は、長期間安心してお使いいただくため、また万一の不具合時にスムーズに対応できるよう、各主要部品が個別に分離・脱着できる「モジュール式」を採用しています。LED主照明、常夜灯、ファン部、パネ・ギヤ、および駆動ドライバなどの主要パーツは、すべてワンタッチの接続コネクタで繋がっているため、部品の経年劣化や部分的な故障が発生した場合でも、器具全体を買い替えることなく該当パーツのみを簡単に交換・修理することが可能です。

●保証期間内の対応と自主交換の流れ

①カスタマーサポートへご連絡：

不具合の症状を当店カスタマーサポートまでご連絡ください。保証期間内であれば、交換用の新品パーツを無償でご自宅へ郵送いたします。

②お客様による簡単な交換作業：

パーツはコネクタを抜き差しするだけのシンプルな構造です。専門的な電気工事の知識がなくても、付属の取扱説明書（パーツ交換マニュアル）に従って、お客様ご自身で交換していただけます。交換作業の際は、必ず電源を切ってから行ってください。

製品保証書

本製品は、日本国内における最終品質検査に合格したのち出荷されています。お買い上げ日から1年以内に故障が発生した場合、本保証規定に基づき無償で修理または交換いたします。なお、LED照明ユニットおよびファンモーターについては、下記の期間、別途保証いたします。

品名	羽根収納シーリングファンライト	品番	CFL-S10
ご購入日	年 月 日	保証期間 (付属品を除く)	LED照明ユニット：5年間 ファンモーター：2年間
お客様	お名前 ご住所	様	メール
販売店	住所・店名		メール

保証規定

- 1.本取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項にしたがった正常な使用状態で故障及び破損した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 2.保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
- 3.保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においてもその他の保証はいたしかねます。
- 4.「安全上の注意」「使用上の注意」にしたがった正常な使用状態で故障及び破損した場合が対象になります。
- 5.保証期間内に、無料修理を受けるときは必ず本保証書をご提示ください。販売店の印鑑、購入日記入の保証書を購入後も大切に保管してください。
- 6.修理や交換にかかる送料はお客様のご負担となります。予めご了承ください。
- 7.保証期間内においても以下の場合には有料修理となります。
①誤った使用、不当な修理、改造などによる故障及び破損②お買い上げ後の落下などによる故障及び破損③火災、地震、その他の天災地変による故障及び破損④一般家庭用以外(例として業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び破損⑤お買い上げ後の移動、輸送またはじゅう器・備品などとの接触による故障及び破損⑥本書のご提示がない場合⑦本書に品番、お客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合。あるいは字句を書き換えられた場合
- 8.本書は日本国内においてのみ有効です。
- 9.本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

長期使用製品についてのご注意

長年ご使用の製品は、熱・湿気・ホコリなどの影響により、内部部品が劣化し、発煙・発火のおそれがあります。ご使用中につきのような症状がみられる場合は、壁スイッチを切り製品を取り外して、お買い上げの販売店または本書記載の「お問い合わせ」にご相談ください。
●スイッチを入れても羽根が回らない。●羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。●回転するときに異常な音や振動がする。(摩擦音・接触音・打音等がしたり羽根がブレて振動しているなどの状況)●モーター部分が異常に熱かったり、焦げ臭いにおいがする。



<開発元> 株式会社 ビザイア <https://www.livaia.com/>
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-19-8シンエイ第2蔵前2F
製品のお問い合わせ : info@bizaia.co.jp
<製品の返品宛先> 株式会社ビザイア千葉倉庫
〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸 47 番地

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ビザイアは、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

LumoAir
ルモエア